

株式会社ジェイコムイースト 板橋局

放送番組審議会 議事録

2018年度 株式会社ジェイコムイースト板橋局 放送番組審議会は、
2019年2月8日(金)板橋局 4F 会議室にて開催された。

【放送番組審議会委員】

ご出席

坂野 文雄 様

鈴木 静雄 様

高橋 泰子 様

佐藤 としのぶ 様

ご欠席

原田 曠暉 様

榎本一郎 様

事業者側から事業報告及び J:COM チャンネル(11ch)と J:COM テレビ(10ch)について報告。

【質疑応答・意見交換】 進行：坂野会長

■「板橋区音楽祭ジュニア 2018」について

委員

16年前に板橋区の中学校が吹奏楽全国大会で金賞を受賞したのがこの音楽祭の始まり。

当日は 3,000 人程度の来場者があり、とても好評だった。しかし、学校紹介の場面で「全国大会で金賞を受賞した」など紹介がなかった。そうした情報を盛り込んで頂きたい。

※補足：11月、全日本マーチングコンテストが大阪城ホールで開催。板橋区立赤塚第三中学校が金賞

事業者

沢山の方にご覧いただいているのは理解している。3,4年前に比べると放送時間も拡大し、出演する全校をノーカットで放送している。与えられた先方のステージ進行と合わせてやっているため、現場で情報を追加するという構成が難しく、デイリーニュースでは学校より提供された写真を使用して紹介している。

今後は、関西にあるジェイコムウエストと連携するなど、グループ局の利点を生かした番組構成も検討していきたい。

■わくわく1年生について

委員

毎週月曜日更新とあるが、同じものが放送されている。小学校が6校しか記載されていない。もっと沢山の学校を取材・放送に取り組んで欲しい。番組制作費の問題なのか学校側の受け入れ体制の問題なのか？状況を教えて欲しい。

事業者

我々も状況を理解し、心苦しい点がある。学校側の許可はもちろん、出演する児童全員の許諾が前提であり、敷居が高い学校も多い。

事業者

取材校の増加に向けて、引き続き校長会等で説明する機会を得たいと思う。

■学童野球について

委員

昨年まで学童野球、ジャビットカップの予選となる志村大会の開会式などの取材があったが、今年からなくなった。その経緯を教えて欲しい。

事業者

昨年まではジャビットカップの冠協賛をしていたが、今年は協賛を取りやめた経緯があり、当社としてはそこに関する試合を放送することが出来なくなった。別の大会への協賛、取材等を検討中である。

■オリンピック関連

委員

板橋区は特に競技会場はないが、イタリアのバレーボールチームの練習会場になっている。こうした取材も検討して頂きたい。

■板橋区在住 冒険家 阿部雅龍さんについて

委員

板橋区在住 阿部雅龍さんの南極到達についてデイリーニュースだけではなく、特集を組んで欲しい。彼の挑戦には板橋の企業の協賛も多く、関わりも深いので話題になっている。是非、ドキュメンタリーを作っ

て板橋エリアだけではなく全国へ放送して頂きたい。また、放送以外にも板橋区の校長会や PTA 会長の会、地域センター等へ広めて欲しい。

委員

冒険家の植村直巳さんが板橋に住んでいたことがきっかけで、板橋に住みだした阿部さんだが、彼が果たした快拳は板橋の子供達の生きる力となる。子供達・障がいのある方に広く紹介して欲しい。取材をして放送する受け身の姿勢ではなく、ジェイコムが仕掛けて欲しい。

事業者

貴重な意見として検討する。ジェイコムとしても地域イベントの仕掛け、番組企画等、新たな試みへの思案を継続して取り組んでいく。

■ 子供達の活躍している姿を広める

委員

板橋と北区のエリアにナショナルトレーニングセンターがあるので、そこで練習している選手の様子を広めて欲しい。健常者のみならず、障がい者スポーツは放送するだけでも価値がある。それが出来るのはジェイコムだと思うので是非お願いしたい。

事業者

現在、トレセンの担当者と打合せを行っている。具体的内容は未定だが、デイリーニュースで紹介できる企画を目指している。

■ 板橋シティマラソン

委員

ジェイコムは以前、関わっていたと認識している。採算が取れないから番組化を見送ったのか教えて欲しい。

事業者

現時点ではニュース、一昨年は生中継の受託業務として実施した。

5 回に 1 回は大きな予算をいただいて実施している。それ以外は予算がなく、番組化する場合はジェイコムが費用持ち出しとなる。マラソン大会の生中継は数千万円規模となるので、そこまでの規模のものは手が出せない。

今年、港区のマラソン大会を初めて行ったが、行政から番組制作費をいただいて生中継を実施した。スポンサー獲得だけで補うのは難しい。生中継は難しい状況ではあるが、ニュースの特集や拡大版で実施していく。

■パブリックビューイング（PV）について

委員

ラグビーの PV を経験され、今後オリンピックに向けて非常にニーズがある事業だと思うので、今後の方向性を教えて欲しい。大型のビジョンを設置して、その運営は広告収入と放映するコンテンツの提供で採算が取れるのであれば、使いやすいと思う。その辺りを教えて欲しい。

事業者

大型モニターは実際設置してあるもの、その場限りで設置するものがある。

東京オリンピックでは JOC/IOC のルールにより、PV は一切出来ない。

浅草駅に 250 インチ程度の大型モニターがあり、ジェイコムが運営、生中継、番組宣伝をしている。

ビルのオーナーが設置したものを業務委託している。現時点では設置から運営までは取り組んでいない。

委員

設置する場所にもよると思うが、設置は建物の所有者が行った場合、運営の委託費用は必要になるのか？ スポンサー料だけでは難しいか？

事業者

スポンサーフィーと同じ位のものもある。これぐらい収益があれば出来ますという契約もある。

広告費は削られている傾向にあり、きちんと確約を取りながら進めるのは難しい。

委員

委託費を出してくれる自治体とセットであれば可能性は有るか？

事業者

進んでやりたいと思う。

■板橋人図鑑について

委員

年間で何人くらい出演しているのか？ 板橋は中小企業も多く、職人技を持った人が多いので、その人達を紹介して欲しい。その技術を紹介することで、感動して実際にやってみたいと思う視聴者もいる。それこそ地域に密着したテレビ局になれるのではないかと思う。

事業者

これまでの出演者は約 120 人。商工会の賀詞交換会で木工所の社員が表彰された折に、人図鑑出演

をお願いした。今後の企画のひとつとして、地域の職人をシリーズで紹介しても面白いと思う。

委員

人図鑑はスタジオではなく、外でのロケはしないのか？作っている現場、スポーツもやっている場があつていいと思う。

事業者

確かにより番組が生きた形となるので今後検討したい。

■ e スポーツについて

事業者

当社では e スポーツに力を入れようとしている。

ゲームがスポーツかという否定的な意見もあるが、スポーツには「競い合う」という概念があるため、ゲームも競え合えばスポーツになる。

来年の茨城国体において、サッカー協会にジェイコムとして何か協力出来ないかと申し入れをしている。日本はアメリカと異なり、競って高額な賞金をもらうというのは法律上で難しく、遅れている。韓国は e スポーツ大国であり、流行るためには日本の法律から変えていく必要がある。

■ 4K テレビについて

事業者

ご自宅のテレビは 4K でしょうか？4K のコンテンツはこれからの部分も多いが、NHK の大河ドラマは BS4K の朝 9 時から一番早く視聴ができる。現状でも綺麗だが、比べて見るとはっきり違いが分かる。

■ ドローンについて

事業者

昨年、調布の花火大会の生中継でドローンを使用して 4K で収録した。ドローンで撮影した花火は制作側としても新鮮だった。今年、板橋の花火大会でドローンを使用するのはどうか？

事業者

今年は 60 回大会。主催者にドローン使用を提案したい

事業者

ドローンを飛ばすことは色々な制約があり、花火の中に突入することは出来ない。

私自身がドローンの資格を有しているが、有事の際、周りの探索、被害状況の確認は総務省に登録して

あるメンバーは直ぐに飛ばすことが出来る。

委員

例えば、台風で荒川が氾濫しそうな時にはドローンは飛ばして映せるのか？

事業者

ドローンは強風には弱く、台風直撃中は厳しいが、翌日であれば荒川の増水を映すことは可能。

委員

ドローンが犯罪に使われることはないのか？ドローンの免許をとる人の資格はないのか？

事業者

住宅の上を飛んではいけない、道路を横切ってはいけない。東京都内は登録している人のみ操縦が許され、飛行には事前申告が必要。静かなドローンはなく、光も点滅させなければならない。中野事務所と小金井事務所はドローンを保有している。

委員

川の上は飛ばせるのか？

事業者

河川は国交省管轄で許可を取り、基本は問題ない。但し、水面上は反射の影響で GPS 機能が低下する場合があります、コントロールが不安定になる可能性がある。

■ 外国人対応について

委員

板橋区内には滞在している外国人が 5～10 万人。その方々はどのように情報を収集しているのか？
板橋区としてどう発信していくべきか？

事業者

インバウンドや外国人向け放送の検討をしている。例えば大田区は韓国人、中国人、更にケーブルテレビ対応マンションに住んでいる方も多い。「外国語字幕の対応をしてもらえますか？」という話が行政からあり、検討を進めている。当社としてもメディアで外国人向けへの取組みが必要に迫られている。また、インバウンド向けの地域の観光とのセッションは活性化事業を含め、提案している。

委員

5,6年前までは爆買いなどが流行ったが、今は世界各国から外国人が押し寄せるようになってきている。今は、板橋区の商店街をみても、外国人抜きでは考えられない。

事業者

当社が元々、区民の方に親んでもらうという「区民チャンネル」だったことから、出遅れている感は勿論ある。今はイベントを仕掛け、板橋区のためにという意識が強く、急ピッチで進めている最中である。外国人の皆さんが街に来た際に、地域の方たちも何をしたいのか、どんな取組みをすべきなのか一緒になって検討していきたい。

委員

観光協会の役員は60人位いるが、外国人が参加していないのは問題である。ジェイコムが仕掛けていき、是非、「板橋のジェイコム」となって欲しい。

以上